

北海道小規模企業振興方策に対するご意見への整理について（創業等の促進）

資料5-2-4

番号	区分	方 策	各委員のご意見		小規模企業等の 主なご意見	部会での議論の整理	
			第1回	第2回		整理の考え方	議論の整理等
1	創業等の 促進	《主な課題》 ■地域の人口減少が進む中、新たな事業の創出による雇用の場の確保が重要	—	—	—	【新たな方策に記載を検討】 ・新たな方策の「主な課題」には現方策に記載している創業の意義ではなく、創業(希望)者自身の創業する上での課題の記載を検討する。	《主な課題》 ■失敗時のリスクなど起業への不安の解消 ■事業に必要な専門知識、経営ノウハウの蓄積 ■創業資金の確保
			・企業の創業は、どうしても大都市、札幌近辺に集中する	—	—	【新たな方策に記載を検討】 ・現在、人口減少や高齢化などの地域課題を解決する創業への支援に取り組んでいるおり、新たな方策の「〇道に取り組むべき主な支援の例」に「■地域課題解決を目指す企業への支援」の記載を検討する	
			・新しい企業がどんどん出てくれば、経済活性化に結びつく	—	・廃業が創業を上回っている【団体】	【施策の推進の中で留意】 ・創業者の増加に向け、関係機関と連携しながら取組を加速していく	

番号	区分	方 策	各委員のご意見		小規模企業等の 主なご意見	部会での議論の整理	
			第1回	第2回		整理の考え方	議論の整理等
2	創業等の 促進	<p>【展開の方向】</p> <p>○創業の各ステージに応じたきめ細やかな支援</p> <p>・起業家意識の普及・啓蒙</p> <p>・創業に向けた相談指導体制の整備</p> <p>・創業時、創業間もない企業に対する経営指導</p> <p>・事業承継の取組と連動した創業支援</p> <p>○女性・若者・アクティブシニアなど多様で意欲的な人材による創業の促進</p>	—	—	—	<p>【新たな方策に記載を検討】</p> <p>・現方策の「○創業の各ステージに応じたきめ細やかな支援」の下には、4つの「・」で詳細な「展開の方向」が記載されており、「経営体質の強化」など他の柱とは体系の立て方が異なっているため、新たな方策では、「○創業の各ステージに応じたきめ細やかな支援」のみを「道が取り組むべき主な支援の例」に記載し、「・」の4項目の削除を検討する。</p>	<p>【展開の方向】</p> <p>○創業の各ステージに応じたきめ細やかな支援</p> <p>○育児や介護、退職後などにおける多様な創業の促進</p> <p>○事業再構築を含めた新事業分野進出の促進</p>
			—	—	<p>・ジェンダーについて注目される中、女性などの表現は方策において避けるべきである【商工会】</p>	<p>【新たな方策に記載を検討】</p> <p>・現方策の「○女性・若者・アクティブシニアなどの多様な創業」は、育児後や介護後の創業、退職後の生きがいのための創業に加え、副業やフリーランスも含めた創業など多様性が増しており、こうした多様な創業に合わせた支援は必要であるが、育児や介護は女性に限定されず、若者の創業は珍しくないことなどから、新たな方策の「展開の方向」は、女性や若者といった区分はせず、「○育児や介護、退職後などにおける多様な創業の支援」について記載を検討する。</p>	
			<p>・地域おこし協力隊、ローカルフレンドズ、移住者など様々なタイプ(ゲストハウス、コワーキングスペース等)の起業が多い</p>	—	—	<p>【毎年の施策立案の中で検討】</p> <p>・関係部局等とも連携して、引き続き、多様な起業を推進していく</p>	

番号	区分	方 策	各委員のご意見		小規模企業等の 主なご意見	部会での議論の整理	
			第1回	第2回		整理の考え方	議論の整理等
2	創業等の 促進		—	・起業によるインキュベーション等 新陳代謝、新たな時代の企業を生むことが重要であり、スタートアップも含めた総合的な支援が必要	—	【毎年の施策立案の中で検討】 ・国などとも連携しながら、スタートアップ企業の支援を図るために必要な施策を検討していく。	
			<p>・コロナ融資では資金繰りが安定する前に返済開始となる企業が続々出る。コロナ融資返済開始に向けた準備、新たなスタイルでの事業展開が迫られることが想定される(再掲)</p> <p>・アフターコロナや社会情勢の変化が加速する中、個々の事業者にあった事業再構築、新たな事業展開を適切なタイミングで実行に移すことが必要</p> <p>・中長期的課題としても事業再構築といった課題が大きく、外部環境に適応する形で新たな市場を捉え、新たな経営のあり方を考えていくことが必要</p>	—	<p>・現状の振興方策では創業のみの記載となっており、既存の小規模事業者が地域コミュニティを維持するため、新たな事業展開を行うケースもあることから、方策に明記する必要がある【商工会】</p>	<p>【新たな方策に記載を検討】 ・現条例で「創業等」の「等」は「新たな事業分野への進出」である。新事業分野進出は企業が常に新陳代謝を行い維持・成長するため、また、コロナ後の事業展開の一つの方法として重要な課題であることから、「創業」とは分離し、新たな方策の「展開の方向」に「○第二創業や事業再構築を含めた新事業分野進出の促進」について記載を検討する。</p>	

番号	区分	方 策	各委員のご意見		小規模企業等の 主なご意見	部会での議論の整理	
			第1回	第2回		整理の考え方	議論の整理等
3	主な取組 の例 創業等の 促進①	<p>〈創業の各ステージに応じたきめ細やかな支援〉</p> <p>■大学生向け起業家教育(アントレプレナーシップ講座)の開催</p> <p>■起業相談会、実践起業塾の開催</p> <p>■先輩起業家(メンター)登録制度の整備</p> <p>■先輩起業家との交流会、講演会や企業見学会の開催</p> <p>■創業希望者データベースの活用</p> <p>■後継者不在企業と創業希望者とのマッチング(再掲)</p> <p>■北海道中小企業総合支援センター、商工会・商工会議所等による起業後のフォローアップ</p>	—	—	—	<p>【新たな方策に記載を検討】</p> <p>・現方策の「〇創業の各ステージに応じたきめ細やかな支援」の「主な取組」のうち、メンターへの負担から実施が困難との理由から「■先輩起業家(メンター)登録制度の整備」を、北海道後継者人材バンクにおいてデータベース化が進んでいるとの理由から「■創業希望者データベースの活用」を削除し、創業を人口減少や高齢化などの地域課題の解決につなげていくことが重要であることから、新たな方策の「〇道が取り組むべき主な支援の例」に「■地域課題解決を目指す起業への支援」の記載を検討する。</p>	<p>〈創業の各ステージに応じたきめ細やかな支援〉</p> <p>■学生を含めた様々な世代に対する起業家意識の普及・啓蒙</p> <p>■起業相談会、起業セミナーの開催</p> <p>■先輩起業家との交流会、講演会や企業見学会の開催</p> <p>■後継者不在企業と創業希望者とのマッチング(再掲)</p> <p>■創業者への資金面での支援</p> <p>■北海道中小企業総合支援センター、商工会・商工会議所等による起業後のフォローアップ</p>
			・創業に対する総合的な支援が北海道を大きく変える	—	—	<p>【施策の推進の中で留意】</p> <p>・現在、創業希望者への相談対応や指導、地域課題解決に向けた必要な経費の助成や制度融資による資金調達など創業のステージに応じたきめ細やかな支援を行っている。情報の発信の強化に努めるなど、創業の一層の促進を図る</p>	
			・支援策の情報発信にあたっては、支援する側の連携、キャパシティ強化が重要(再掲)	—	—	<p>【施策の推進の中で留意】</p> <p>・引き続き、関係機関と連携したきめ細かな支援に努めていく。</p>	
			・飲食店に関しては、良い土地や良い物件の情報が速やかに簡潔に見れる環境整備が必要	—	—	<p>【毎年の施策立案の中で検討】</p> <p>・意見を参考に毎年の施策を検討する。</p>	

番号	区分	方 策	各委員のご意見		小規模企業等の 主なご意見	部会での議論の整理	
			第1回	第2回		整理の考え方	議論の整理等
3	主な取組 の例 創業等の 促進①		—	<ul style="list-style-type: none"> ・創業関係の補助金に注力すべき ・創業関係の補助金の要件緩和により対象者を増やしていくことが必要 	—	<p>【毎年の施策立案の中で検討】 【施策の推進の中で留意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、創業希望者への相談対応や指導、地域課題解決に向けた必要な経費の助成や制度融資による資金調達など創業のステージに応じたきめ細やかな支援を行っている。支援の充実に努め、必要により支援策を国に要請するなどして創業の促進を図る。意見を参考に毎年の施策を検討する。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・寄付型、購入型のクラウドファンディング資金調達手法の活用が多くなっている 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者のクラウドファンディングなどを促していくために、新規事業に対して一部助成を行うなど財政措置も行い、「官＋民」による円滑な資金の供給などを検討すべき【商工会】 	<p>【毎年の施策立案の中で検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なクラウドファンディングの活用促進について、意見を参考に毎年の施策を検討する。 	
			—	<ul style="list-style-type: none"> ・創業貸付については、事業者負担を軽くするため保証料の補給をすべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・保証料の補給などのメリットが必要【商工会議所】 	<p>【施策の推進の中で留意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の創業貸付は、通常よりも低利に設定するなど、事業者の負担の軽減を図っている。 ・また、制度を利用する際の保証制度「創業関連保証」については、責任共有対象外(100%保証)であるほか、保証協会が代位弁済を行った場合、損失の一部を道が補償するなど、リスクが比較的高い創業者向けにより積極的な融資が行われるよう措置している。 ・今後とも道の融資制度の利用促進を図るなど、資金供給の円滑化を図り、創業を促進する。 	

番号	区分	方 策	各委員のご意見		小規模企業等の 主なご意見	部会での議論の整理	
			第1回	第2回		整理の考え方	議論の整理等
4	主な取組 の例 創業等の 促進②	<p>〈女性・若者・アクティブシニアなどによる創業の促進〉</p> <p>■大学生向け起業家教育(アントレプレナーシップ講座)の開催(再掲)</p> <p>■起業相談会、実践起業塾の開催(再掲)</p> <p>■先輩起業家(メンター)登録制度の整備(再掲)</p> <p>■先輩起業家と交流会、講演会や企業見学会の開催(再掲)</p> <p>■北海道産業振興条例に基づく施策、官民連携ファンド等による新商品・新サービス開発・販路開拓への支援(再掲)</p>	—	<p>・テレワーカー、ワーケーション、移住者といった方々をうまく活用することが大切であることから、小さな地域ではなく、北海道全体で、対象を首都圏などを含めてマッチングを推進する必要(再掲)</p>	—	<p>【新たな方策に記載を検討】</p> <p>・現方策の「〇女性・若者・アクティブシニアなどの多様な創業」の「主な取組の例」について、「〇創業の各ステージに応じたきめ細やかな支援」と比較して詳細な記述が多いため「■ビジネスで女性が活躍しやすい環境づくりの推進」以外は、新たな方策では「〇道が取り組むべき主な支援の例」の「■創業者のニーズに応じたきめ細やかな支援」にまとめて記載を検討する。</p>	<p>〈育児や介護、退職後などにおける多様な創業の促進〉</p> <p>■創業希望者のニーズに応じたきめ細やかな創業支援</p> <p>■ビジネスで女性が活躍しやすい環境づくりの推進</p>
		<p>■空き店舗を活用したコミュニティビジネス創出の支援</p> <p>■ビジネスで女性が活躍しやすい環境づくりの推進</p>	—	<p>・テレワーカー、ワーケーション、移住者といった方々をうまく活用することが大切であることから、小さな地域ではなく、北海道全体で、対象を首都圏などを含めてマッチングを推進する必要(再掲)</p>	—	—	—
		—	—	<p>・ジェンダーについて注目される中、女性などの表現は方策において避けるべきである(再掲)</p> <p>【商工会】</p>	<p>【新たな方策に記載を検討】</p> <p>・現方策の「〇女性・若者・アクティブシニアなどの多様な創業」は、育児後や介護後の創業、退職後の生きがいのための創業に加え、副業やフリーランスも含めた創業など多様さが増しており、こうした多様な創業に合わせた支援は必要であるが、育児や介護は女性に限定されず、若者の創業は珍しくないことなどから、新たな方策の「展開の方向」は、女性や若者といった区分はせず、「〇育児や介護、退職後などにおける多様な創業の支援」について記載を検討する。</p>	—	—

番号	区分	方 策	各委員のご意見		小規模企業等の 主なご意見	部会での議論の整理	
			第1回	第2回		整理の考え方	議論の整理等
5	—	〔 〈新事業展開の促進〉 〕	—	—	—	<p>【新たな方策に記載を検討】</p> <p>・新たな方策に「展開の方向」として「○第二創業や事業再構築を含めた新事業分野進出の促進」について記載を検討するにあたり、現在でも取り組んでいる「■社会経済の変化等に対応した新たな分野への参入に資するセミナー等の開催」、「■相談窓口や専門家派遣による個別相談」について「道が取り組むべき主な支援の例」に記載を検討する。</p>	<p>〈事業再構築を含めた新事業分野進出の促進〉</p> <p>■社会・経済の変化等に対応した新たな分野への参入に資するセミナー等の開催</p> <p>■相談窓口や専門家派遣による個別相談</p> <p>■新事業展開や事業再構築などに向けた取組への支援</p>
			—	<p>・国の補助金でカバーできない分野、条件的に申請要件を満たさないというケースをカバーできる事業再構築やアフターコロナを見据えた事業再構築、新事業展開を行う際に活用しやすいような道の補助金を拡充すべき</p>	—	<p>【毎年の施策立案の中で検討】</p> <p>・今後とも国の支援策の活用を促進するほか、必要により支援策を国に要請するなどして新事業展開の促進を図る。意見を参考に毎年の施策を検討する。</p>	